

司書のオススメ本

～芥川賞（2006 年下半年）～

『ひとり日和』

青山七恵（著） 河出書房新社

配架場所：一般書架 請求番号：913.6||AOY

作者の青山七恵が、芥川賞を受賞したのは、23歳と11カ月のとき。作家の文学賞受賞時の年齢は若年化傾向にあり、特に女性作家の活躍には目覚ましいものがあります。フリーター生活を送る20歳の知寿が、母の知り合いである71歳の吟子さんの家で居候をすることになるところから物語は始まります。淡々と過ぎゆく日常からは、残念ながら、元気のない若者像が浮かび上がってきます。しかし、20歳前後の不安定な立場や気持ちが上手に表現されていると思います。「ひとり日和」を読んで、20代女性が描く、20代女性のリアルを感じてみませんか。

～直木賞（2006 年下半年）～

『風に舞いあがるビニールシート』

森絵都（著） 文藝春秋

配架場所：一般書架 請求番号：913.6||MOR

表紙の絵は、油絵タッチで描かれていますが、本を手にとると、実際のキャンバス地のように、ざらっとした触感になっていることが分かります。凝った装丁の本に出会うと嬉しいですね。また、児童文学の著作で有名な作家でもあり、一般向けに発表した作品が直木賞を受賞しました。「大切な何かのために懸命に生きる人たちの、6つの物語」と帯にあり、国連難民高等弁務官、パティシエ、仏像修復師等、6人の主人公たちのそれぞれのストーリーは、読み応えのあるものばかりです。

～芥川賞（2008 年下半年）～

『ポトスライムの舟』

津村記久子（著） 講談社

配架場所：一般書架 請求番号：913.6||TSU

作者の津村記久子が、芥川賞を受賞したのは、30歳と11カ月のとき。アラサー女性作家が描く主人公ナガセは、29歳、契約社員、彼氏なし。本の表紙全体に描かれているのは、タイトルにもある「ポトスライム」で、挿し木で簡単に増やすことができる観葉植物です。図書館では帯を外してしまうのですが、帯には、「本当に大事なことは、きっと毎日少しずつ育っている」とあり、ポトスライムのように、幸せは毎日育てていくことができるようです。悩み多きアラサー世代に、幸せな生き方の一つを示してくれる作品です。

～直木賞（2006 年下半年）～

『まほろ駅前多田便利軒』

三浦しをん（著） 文藝春秋

配架場所：一般書架 請求番号：913.6||MIU

中年男性コンビが主人公という珍しい作品。便利屋を営む多田と、そこに転がり込んできた元同級生行天が依頼を解決していく姿を、三浦しをんらしく、軽妙なタッチで描きます。訳あり中年男性の再生の物語でもあり、軽妙な中に、ホロリとくるシーンがあり、笑いと涙にあふれたハートフルストーリーに仕上がっています。また、三浦しをんは、エッセイの名手としても有名で、作者の妄想が散りばめられた作品は、抱腹絶倒まちがいなしです。